

オープンサイエンスに向けた 研究データ管理支援の現状と課題

2026 **2/27** (Fri)
13:30-17:40

参加費無料

オープンサイエンスの実現に向けて、大学等研究機関では研究データ管理の基盤整備が進んでいます。

本シンポジウムでは、研究大学における基盤整備の現状や課題を共有し、今後進むべき方向について議論を深めていきます。

開催方式

対面：京都大学国際科学イノベーション棟 5F HORIBAシンポジウムホール
オンライン：ZOOM

イベント終了後に情報交換会を実施いたします。

【時間】 18:00-19:30

【場所】 会場隣スペース ホワイトエ

【お支払い方法】 別途参加費 1,000円 が必要です。

※クレジットカード決済のみ ※お申し込みフォームにて受付

申込期間

2026年2月16日（月）17:00 まで

※申込多数の場合は早めに締め切る場合がございます。

定員

200名（現地）

お申し込みフォームはこちら

<https://business.form-mailer.jp/fms/8f8010d9325802>



プログラム

- | | |
|-------------|--|
| 13:30-13:35 | 開会挨拶 岡部 寿男 (京都大学 情報環境機構長) |
| 13:35-13:45 | オープニング・スピーチ 引原 隆士 (京都大学 情報基盤・図書館担当理事) |
| 13:45-14:25 | 基調講演：データ基盤から知識基盤へ 黒橋 禎夫 (国立情報学研究所長) |
| 14:55-15:15 | 講演Ⅰ 大阪大学のデータ集約基盤ONIONの誕生と成長経緯
伊達 進 (大阪大学 D3センター 教授) |
| 15:15-15:35 | 講演Ⅱ ONION を活用したデータ管理システム形成に向けた初期事例：
研究管理・人文社会・理工・医療へ広がる分野横断的取り組み
甲斐 尚人 (大阪大学 D3センター 准教授) |
| 15:45-16:05 | 講演Ⅲ 京都大学の研究データ管理支援の体制とそれを支える基盤・サービス
渥美 紀寿 (京都大学 情報環境機構 教授) |
| 16:05-16:15 | 講演Ⅳ 学術情報メディアセンターが提供するエッジコンピューティング基盤とその活用例
小谷 大祐 (京都大学 学術情報メディアセンター 准教授)
井阪 悠太 (京都大学 情報環境機構 特定講師) |
| 16:15-16:25 | 講演Ⅴ KURENAIが実現するオープンアクセス
西岡 千文 (京都大学 情報環境機構 准教授) |
| 16:55-17:35 | パネルディスカッション
テーマ：大学におけるこれからの研究データ管理支援
モデレーター：渥美 紀寿 (京都大学 情報環境機構 教授) |
| 17:35-17:40 | 閉会挨拶 引原 隆士 (京都大学 情報基盤・図書館担当理事) |
| 18:00-19:30 | 情報交換会 |

お問い合わせ

京都大学研究データ管理シンポジウム事務局
(京大オリジナル株式会社)
E-mail: kensyu@kyodai-original.co.jp



京都大学



京都大学
情報環境機構
iimc
Institute for
Information Management
and Communication